

令和8年（2026年）5月14日

2026 エネ環地研成果発表会を開催します

エネルギー・環境・地質研究所（エネ環地研）が取り組んできた研究開発や技術支援の成果を公開し、広く皆様にご活用いただくため、次のとおり成果発表会を開催いたします。

今回の発表会では、

「**エネルギー資源・利用技術**」「**循環資源**」「**自然環境**」「**環境保全**」および「**地質災害・地質資源**」の5分野について、最新の研究成果に基づく13件の口頭発表と、23件のポスター発表および関連する展示を行います。

● 日 時

令和8年5月20日（水） [開場 9:30]

● 場 所

北海道立道民活動センター かでる2・7（札幌市中央区北2条西7丁目）【参加費：無料】

※オンライン同時配信

● 参加申込 以下のエネ環地研 URL からお申し込みください

<https://www.hro.or.jp/industrial/research/eeg/news/2026seikahoukokukai.html>

● 主 催

（地独）北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所

● 報道（取材）に当たってのお願い

・より多くの方にご参加いただくため、本開催案内の報道をご検討いただけますと幸いです。当日の取材につきましても、どうぞよろしく願いいたします。

・取材をご希望の場合は、5月19日までに下記の担当者へご連絡ください。

● 同時配布先 道政記者クラブ、経済記者クラブ、教育記者クラブ 同時配布

お問合せ

地方独立行政法人北海道立総合研究機構産業技術環境研究本部

エネルギー・環境・地質研究所

研究推進室研究情報グループ（担当：加茂）

電話 011-747-2420 / Fax 011-737-9071

E-mail eeg-koho@ml.hro.or.jp

ホームページ <https://www.hro.or.jp/eeg.html>



2026

工ネ環地研成果発表会

地域資源を示す・守る・活かす多彩な取組を紹介！

エネルギー・環境・地質研究所が取り組んできた、研究開発・調査・支援事業の成果を公開し、広く皆様にご活用いただくため、成果発表会を開催いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時 **5月20日**(水)【開場 9:30】

会場 **かでのる2・7**

- 口頭発表:かでのるホール
- ポスター発表・成果品展示:展示ホール

主催 **道総研 エネルギー・環境・地質研究所**

詳細のご確認・お申込は、当所のホームページからお願いします。
申込締切 5月18日(月)(予定) 定員(会場450名・オンライン450名)

<https://www.hro.or.jp/industrial/research/eeg/news/2026seikahoukokukai.html>

参加無料

オンライン同時開催

口頭発表セッションごとに
CPD受講証明書を発行します



口頭発表 5月20日(水) 10:00~15:50
エネルギー資源・利用技術、循環資源、自然環境、
環境保全、地質災害・地質資源

ポスター発表 5月20日(水) 9:30~16:40
(コアタイム:12:00~13:10、16:00~16:40)

展示 5月20日(水) 9:30~16:40
エネルギー資源・利用技術、循環資源、自然環境、
環境保全、地質災害・地質資源



お問合せ



地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所

研究推進室 研究情報グループ TEL:011-747-2420 FAX:011-737-9071 E-mail:eeg-moushikomi@ml.hro.or.jp

口頭発表

開会あいさつ・所の活動紹介 (10:00~10:15) エネルギー・環境・地質研究所 所長 山越 幸康

● エネルギー資源・利用技術セッション (10:15~11:05)

資源エネルギー部の研究ビジョン ~エネルギーの地産地消に向けた取り組みと要素技術~ 鈴木 隆広
白土 博康

O-01 ローカルエリアにおける新しい蓄熱技術、蓄熱池の紹介

● 循環資源セッション (11:05~12:00)

O-02 陸上養殖における窒素循環~植物-微生物の共生系は役に立つ? 牧野 彩花

O-03 車載用リチウムイオン電池からのレアメタル回収に向けて~簡易な設備による湿式プロセスの基礎検討~ 富田 恵一

O-04 廃棄物分野における温室効果ガス発生量推定の取り組み 丹羽 忍

● 自然環境セッション (13:10~14:00)

O-05 石狩浜の海浜植生再生に向けて -6年間の野外試験から見てきたこと- 綱本 良啓

O-06 ササ類の一斉開花はエゾシカによる木本類の食害を変化させるか? 稲富 佳洋

O-07 渡島半島地域にヒグマ問題個体は何頭いるか? -15年間の動向- 釣賀 一二三

● 環境保全セッション (14:00~15:05)

O-08 PCB廃棄物処理に係る環境モニタリングの概要 -20年間の観測データと傾向- 姉崎 克典

O-09 北海道の家庭からのCO₂排出を地域特性から読み解く-ゼロカーボン北海道に向けた排出実態の把握- 三村 慧

O-10 【2025年9月線状降水帯豪雨】これからの集中豪雨にどう向き合うか 鈴木 啓明

O-11 【2025年9月線状降水帯豪雨】斜面災害調査報告 石丸 聡

● 地質災害・地質資源セッション (15:15~15:50)

O-12 地すべり地形分布図の”その先”へ-地形情報の高度化と衛星観測の適用条件- 宇佐見 星弥

O-13 沖積平野における地下海水の開発可能性-陸上養殖への活用に向けて- 園田 ひとみ

開会あいさつ (15:50~15:55) エネルギー・環境・地質研究所 副所長 家山正吾

ポスター発表

(発表者による説明時間 :12:00~13:10、16:00~16:40)

● エネルギー資源・利用技術

P-01 資源エネルギー部の技術:地域性の分析・可視化 齋藤 茂樹

P-02 資源エネルギー部の技術:未利用熱の有効利用 保科 秀夫

P-03 資源エネルギー部の技術:電力・通信の利用技術 林田 淳

P-04 資源エネルギー部の技術:燃焼技術の最前線 藤澤 拓己

P-05 資源エネルギー部の技術:地下資源探査技術の高度化 田村 慎

P-06 資源エネルギー部の技術:地域に根差した地熱・温泉資源の持続的利用 岡 大輔

展示 地中熱・地下水利用ヒートポンプシステムの概要

● 循環資源

P-07 太陽光パネルガラスのリサイクル技術 稲野 浩行

P-08 廃棄物・廃菌床はエネルギーとなりうるか?~混合メタン発酵による検証 牧野 彩花

P-09 地域農産資源から新しい価値を生み出す化学変換技術の開発 松本 剛

P-10 ごみ埋立地の行政検査をドローンで省力化 阿賀 裕英

P-11 持続可能な都市鉱山からの資源リサイクルシステムの構築に向けて:使用済み小型家電の排出実態調査 朝倉 賢

P-12 北海道に風力発電所はどれくらいあるの?~将来の廃棄量予測のために実態を把握しました~ 山口 勝透

展示 車載用二次電池、回収したレアメタル

展示 混合メタン発酵材料の検討に使用した廃菌床

● 地質災害・地質資源

P-13 斜面崩壊の要因解析に基づくリスク評価-豪雨災害に負けない地域づくりにむけて- 仁科 健二

P-14 熱水変質岩から探る十勝岳の地下浅部の様子 高橋 良

P-15 むかわ沿岸における17世紀津波堆積物の分布標高の再検討-津波浸水想定精度向上にむけて- 加瀬 善洋

P-16 エネルギー・環境・地質研究所の休廃止鉱山対策研究-持続的な鉱害対策の実現に向けて(2025年度)- 野呂田 晋

P-17 試験調査船を用いた音響調査から判明したサロバツ断層帯海域延長部の断層活動について 内田 康人

展示 地層剥ぎ取り標本

● 環境保全

P-18 河川の自然浄化機能を明らかにする-水道水源の水質保全に向けて- 木塚 俊和

P-19 北海道における動物用医薬品による環境リスク評価 永洞 真一郎

P-20 北海道の大気中有害物質の現状とこれまでの変化-長期モニタリングの結果から- 大塚 英幸

● 自然環境

P-21 アポイ岳の固有種ヒダカソウの再生にとりくむ ~長期モニタリングをふまえた保全対策 西川 洋子

P-22 ヒグマ水晶体を用いた同位体履歴復元技術の再現性の検証 三浦 一輝

P-23 大雪山へのシカ進出の実態にドローンで迫る:駒草平の現状と手法開発 伊藤 健彦